

安眠誘導装置『シルフ』仕様書

サイズ	駆動側/従動側：幅1000mm×縦270mm×高さ210mm 駆動部：幅200mm×縦220mm×高さ200mm
重量	駆動側：約15kg 従動側：約10kg
材質	SPCC（焼付塗装）
電源	AC100V～240V 50/60Hz
動作方式	特殊カムリンク方式
動作方向	頭足方向
往復運動範囲	100mmストローク
往復運動可変数	可変式 1分間に2往復～30往復
ゆらぎ振動可変数	可変式 1分間に4回～60回
タイマー制御	任意設定
特徴	一定の往復運動の中に、不確定なゆらぎの振動を加えることで、呼吸数や心拍数にあわせた揺れが、快適に安眠へと誘導する機構となっています。
使用上の注意	使用する際は、ベッドの下や周辺等の安全確認を行ってから使用して下さい。

シルフ(安眠誘導装置)取り扱い手順書

初期確認

作動環境の安全を確認する
電源がOFFになっている事を確認する

1、シルフ設置準備

- 1、 ベッドの頭側、脚部下に駆動ベースを差し込む
- 2、 ベッドの足側、脚部下に従動ベースを差し込む
- 3、 それぞれが動作方向に平行になっているか確認し調整する
- 4、 駆動部リンクバーを駆動側ベースのブラケットに固定する(上からはめ込みます)
- 5、 頭側にコントローラのついたカバーを取り付ける
- 6、 足側にカバーを取り付ける
- 7、 駆動部カバーのコントローラと駆動モーターの専用ハーネスを接続する
- 8、 コントローラ背面にある電源接続口に電源線を接続する
- 9、 電源をコンセントに接続する

* 全ての準備が整った事を確認し、シルフの電源をONにする

2、利用者準備

- 1、 再度、周りの安全確認を行う
- 2、 コントローラ電源スイッチをONにする(動き始めます)
- 3、 コントローラのダイヤルを回して最適なスピードに調整する

3、最適なスピード調整方法

- 1、 コントローラ表示をダイヤルを回して500にあわせる
- 2、 実際に横になってもらい体感してもらう
- 3、 目を閉じて、動作しているのが腰のあたりで感覚的にわからない場合は
コントローラの表示を見ながらダイヤルを回して徐々に上げていき最適なスピードを探す

設置環境やその時の個人の感情の起伏でも最適な速度は変わります。

利用者の希望や心拍数に合わせて調整してください。

安眠誘導装置「シルフ」の使い方

- 1 揺動速度を700位に設定(目安)します。
- 2 スイッチON。(タイマー設定で自動OFFします。)
- 3 ベットに横になって下さい。
- 4 動いている事を意識してください。
最初はわかりづらいが、段々落ち着いてくると体で感じてきます。
- 5 一定のリズムの中の「クツツ」という感じが意識できたらOKです。
- 6 2分間位、その感覚を感じているとフワフワと浮いてる感じになってきます。
もし、ゴツゴツとを感じる様なら速過ぎるので揺動速度を遅くして下さい。
もし、何も感じ取れないなら遅過ぎるので揺動速度を速くして下さい。
- 7 その感覚を体感していると自然と眠りにつきます。
仮眠として利用する場合は1分から2分位で起きてください。
- 8 起きた時には頭の中にあつた考えていた事が何にも無くなっています。

皆さんはリフレッシュできましたでしょうか？

諸元 この商品は、
頭の中で色々と考えてしまっている時やイライラしたり興奮したりしている時に
頭の中の考えを一つの事に集中させ、体で一定のリズムの中にある揺れを感じることで
意識と体の状態をリフレッシュさせる事ができると考えて製作した商品です。
私には医学知識も心理学知識も瞑想知識も無いですが、
私の感じる感性と技術で形にしてみました。
人それぞれ感じ方は違うと思いますが、お役に立てれば幸いです。